

「第38回緑の都市賞」において「朝霞の森」の取り組みが「緑の市民協働部門」の「都市緑化機構会長賞」を受賞しました

平成30年12月6日(木)に、受賞した朝霞の森運営委員会の大野良夫委員長と朝霞基地跡地の自然を守る会の鬼塚温子会員が富岡市長を表敬訪問しました。この賞は、樹木や花などの「みどり」を用いた地域社会の活性化や青少年の育成等に取り組み、良好な成果をあげている市民団体等に対して贈られる賞で、「朝霞の森」におけるこれまでの活動が認められ、今回の受賞につながりました。



左から、富岡市長、大野委員長、鬼塚会員

市への寄贈ありがとうございました

平成30年12月21日(金)、はあとぴあ(総合福祉センター)にて、スヌーズレンを2セットご寄贈いただきましたティ・エス テック株式会社に、市から感謝状が贈呈されました。

スヌーズレンとは、重度の障害のある方のリラクゼーションや情緒の安定を目的とした、感覚刺激用具のことです。スヌーズレンを通して、利用者と支援者が楽しみと安らぎを共有できることが期待されます。

左から、東洋大学ライフデザイン学部嶺也守寛准教授、ティ・エス テック萩原一男主幹、影浦郁夫課長、富岡市長、朝霞市社会福祉協議会松尾哲会長



市への寄贈ありがとうございました

有限会社タイセックから誘導棒100本を市に寄贈していただき、平成30年12月26日(木)に感謝状の贈呈を行いました。

いただいた誘導棒は、災害時における避難誘導や交通整理などをはじめ、さまざまな用途で有効活用します。



左から富岡市長、有限会社タイセック岡代表取締役

「朝霞市消防出初め式」が開催されました

1月13日(日)、市役所駐車場で「朝霞市消防出初め式」が開催されました。式では、朝志ヶ丘自警団による放水や消防団によるポンプ車操法の演技のほか、消防団と消防署合同による演技が披露され、手際の良い動きに見学を訪れた方々から歓声が上がっていました。

また、式終了後の「ふれあいひろば」では、子どもたちが消火器体験や放水体験、地震体験車等を通じ、災害の恐ろしさを学ぶとともに貴重な思い出づくりができました。

